貴重図書展示「秋の貴重書名品展 」

期間：2021年10月1日（金）～12月28日（火）
場所：総合図書館中百舌鳥１階貴重図書展示ケース

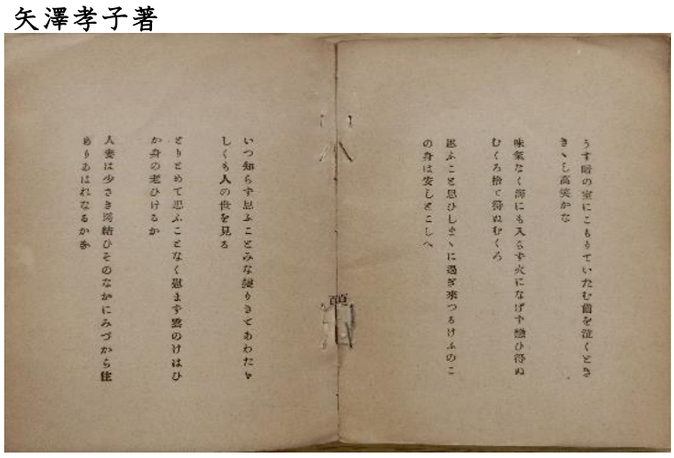
物臭太郎絵巻　写 一巻

室町時代物語。もと冊子本であったものを巻子に改装したもので、六十一紙を継いでいるが、そのときの錯簡、落丁が見られる。本巻は最も原絵巻に近いもので、かつ書写年代も原絵巻の成立時よりそれほど時間が経過していないものと考えられ、慶長期を下らぬ頃のものとされている。

ゑぼしをり　写 二冊

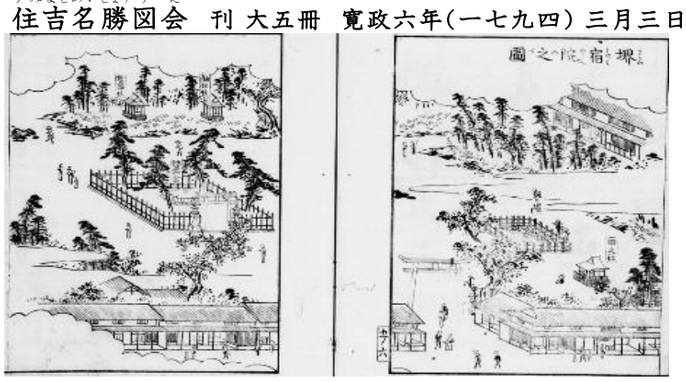
舞の本、奈良絵本。判官物の義経元服より始まる物語で、謡曲「烏帽子折」との関係が深い。元和以後には版本が何度も出版された。本書には十九枚の奈良絵が収められている。

鶏冠木　明治四三年（一九一〇）十月
矢澤孝子著

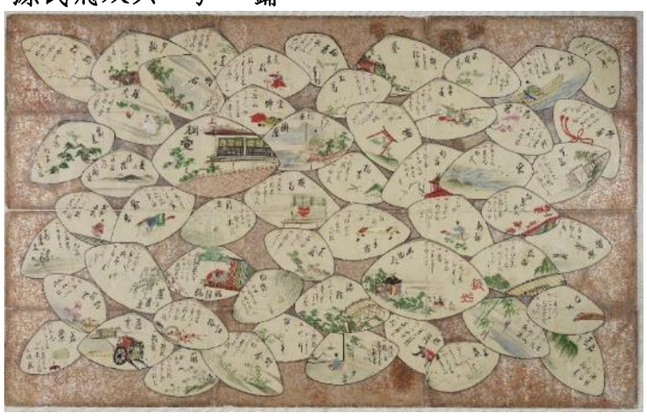


明治三、四十年代の関西地方で活躍した著者の第一歌集。現存するものは少なく、稀覯本に属する珍しい歌集である。

住吉名勝図会　刊 大五冊　寛政六年（一七九四）三月三日　汐干之図



げんじとびすごろく
源氏飛双六　写 一鋪



飛双六とは、賽の目の数によっていくつもの区画を飛び越えたり、逆戻りしたりする変化を加えたもの。

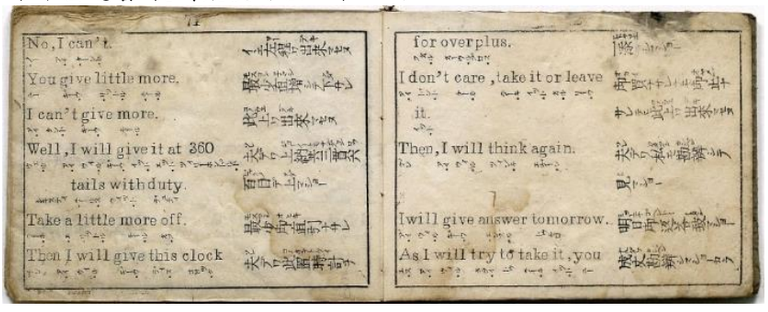
いぶき　刊 一冊 寛永九年（一六三二）

舞の本。整版丹緑本。幸若舞曲の刊本には古活字本と整版本があり、挿絵のあるものとないものがある。寛永頃に整版十行本が三十六番揃本として刊行されたが、本書はそれと同版。

しんけいかさねがふち
真景累ヶ淵　刊 一冊 明治二一年（一八八八）五月
速記者 小相英太郎筆記

「怪談牡丹燈籠」とともに知られる三遊亭圓朝の人情話の速記本初版。

わえいしょうばいたいわしゅう
和英商賈対話集 初編　刊 一冊　安政六年(一八五九)
本木昌造著 長崎築後町塩田幸八刊

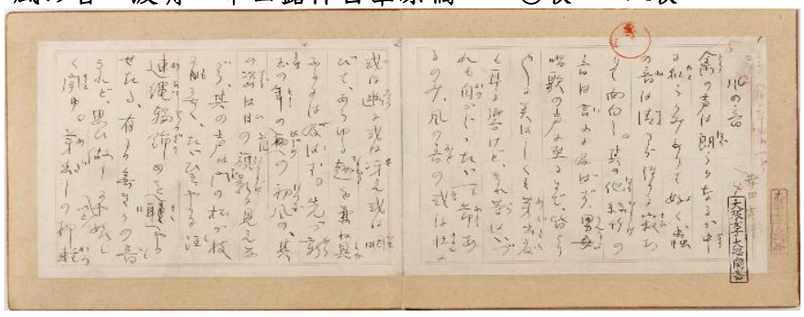


欧文、発音表示の片仮名は鉛活字、和訳文は木版で、活版と木版の二回刷り。日本人の手になる英会話書としては、最も早いもののひとつである。

埋木廼花（うもれぎのはな） 刊 二冊 明治九年（一八七六）九月
高崎正風編

明治天皇の東北巡幸の際に地域の人々から奉献されたという詩歌、文章などの諸作品を集めている。

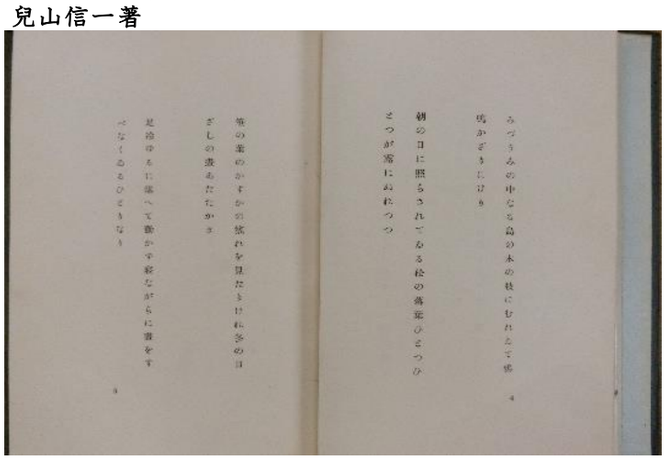
風の音（かぜおと）・渡舟（とふね） 幸田露伴（こうだろはん）自筆原稿（じひつげんこう） 一〇枚・一八枚



それぞれ「グラヒック」明治四三年（一九一〇）一月下旬号・二月下旬号に掲載されたもの。露伴が「折々草」の総題の下に、同誌に四回にわたって連載した、随筆的な小品四篇の内の二つにあたる。

扇面単語図解（せんめんたんごずかい） 楮紙扇面 銅版 明治六年（一八七三）

夜あけの霧（よあけのきり）：歌集（かしゅう） 昭和四年（一九二六）六月
兒山信一著



著者が生前に刊行した唯一の歌集。自然観照の歌が多く、落ち着いた作風。

大阪府立大学学術情報センター図書館